



第104号

令和5年(2023年)

8月20日

発行責任 福岡県古賀市議会

特集

令和5～9年の古賀市議会

2023～2027年の議会・議員構成紹介 2～5p



第2回定例会

主な審議・補正予算 ————— 6～7p

ここが聞きたい! 一般質問 ————— 8～14p

議員研修会・陳情・意見書 ——— 15p

古賀市議会



写真: コロナ禍が明け、再開された古賀市消防団の操法大会。

令和5年から 始まる新しい 古賀市議会

令和5年5月13日から4年間の任期に就く議員を紹介します。今期はこのメンバーで古賀市の市政運営に古賀市民の声を反映させていきます。



19番
渡孝二

3期（無所属）

議長

行政職41年の現場経験と議員活動の経験を生かし、企業誘致、農商工連携、古賀市の活性化を図ります。

古賀市議会を代表して

令和5年4月の古賀市議会議員選挙において19人の議員構成が決定。初当選の7人を加えた新たな「古賀市議会」がスタートしました。少子高齢化と人口減少問題が深刻化する中、議会に課せられた責務を全議員が自覚し、一意専心で市民の負託に応えてまいります。



3番

中野 敦史

2期（無所属）

市民建産常任委員会（委員長）
現場第一主義がモットー。古賀市全体の地域力を上げるため「二所懸命」に「二生懸命」頑張ります。



2番

結城 弘明

6期（無所属）

市民建産常任委員会

人口増加策は喫緊の課題、災害なく子育てに最適で企業に選ばれる魅力的なまちづくりにまい進。



1番

今井 公一

1期（日本共産党）

文教厚生常任委員会（副委員長）

41年の医療現場の経験を活かし、古賀市民のいのち、暮らし、健康、人権、平和を守ります。



18番

森本 義征

6期（無所属）

副議長
総務常任委員会

「積極一貫」まちづくりの懸案事項が正念場を迎えます。これまでの経験を生かし、地域と共創でつながり、創造・成長するまちづくりに取り組みます。



7番

村松 謙二

3期（無所属）

市民建産常任委員会

市民の物心両面の幸福を追求すると同時に古賀市の進歩発展に貢献します。お困りごとの解決人です。



6番

秋吉 智紀

1期（国民民主党）

議会報編集常任委員会（副委員長）
総務常任委員会

「古賀の未来を一步前へ」これまでの起業経験を活かし、行政と共にまちづくりをしてまいります。



5番

森 真希

1期（社会民主党）

文教厚生常任委員会
議会報編集常任委員会

子どもたちの笑顔があふれ、安心して過ごすことができるまちに、皆さまの思いや願いを市政に届けます。



4番


古賀 誠視

3期（無所属）

文教厚生常任委員会（委員長）
議会運営委員会

「市民の声を市政に」子ども医療費無償化・高齢者のゴミ出し支援等の公約実現にまい進します。

11番
伊藤 康義
1期（無所属）
市民建産常任委員会




熱き心で、優しい気持ちで人と人、市と地域のパイプ役となり、市民の声を伝えます。

10番
松島 岩太
7期（無所属）
総務常任委員会
議会運営委員会



人と人のつながりがさらに大切になります。さまざまな声に耳を傾け、ふるさと古賀市のため全力で行動します。

9番
平木 尚子
3期（公明党）
総務常任委員会（委員長）
議会報編集常任委員会



小さな声を聴き、その声を必ず届けます。安心して笑顔で暮らせるまちへ一層努力します。

8番
福崎 トビオ
3期（無所属）
議会報編集常任委員会（委員長）
市民建産常任委員会
議会運営委員会




地域、学校、企業、農業、障がい福祉、2期8年間で取り組んできた「つなげる」ことをさらに広げ深めていきます。

15番
秋山 隆哉
1期（無所属）
文教厚生常任委員会
議会報編集常任委員会



「自靖自献」心の平安を保ち、ふるさと古賀のため、市民の皆さまのために尽くしてまいります。

14番
奴間 健司
8期（無所属）
議会運営委員会（委員長）
文教厚生常任委員会




小・中学生・16歳〜29歳対象の特定健診、がん検診一部自己負担ゼロ、脳・心臓ドック勸奨に全力投入。

13番
大隈 慶太郎
1期（無所属）
文教厚生常任委員会



現場第一主義を貫き、市民の皆さんの声を大切に、課題解決に向けて真面目に取り組んでいきます。

12番
大賀 文子
1期（なおみ長政会）
総務常任委員会
議会運営委員会



「子育てや介護を一人ぼっちにしない」一人ひとりが大切にされるまちをめざします。

(令和5年7月現在)

会派名	議員名 (◎は会派代表者)
自由クラブ(じゆうくらぶ)	◎松島 岩太 渡 孝二 福崎 トビオ 中野 敦史 伊藤 康義 秋山 隆哉
市民クラブ(しみんくらぶ)	◎古賀 誠視 結城 弘明 村松 謙二 紙谷 由香 秋吉 智紀
公明党(こうめいとう)	◎井之上 豊 平木 尚子
山海会(さんみかい)	◎大賀 文子 森 真希
友和(ゆうわ)	◎森本 義征 奴間 健司
会派に属さない議員	今井 公一 大隈 慶太郎


年齢別議員数 (令和5年7月現在)

30代 1人	40代 2人	50代 4人	60代 7人	70代 5人
平均年齢61.7歳(最年長79歳/最年少34歳)				

当選回数別議員数 (令和5年7月現在)

1期	2期	3期	4期	5期	6期	7期	8期
7人	2人	6人	0人	0人	2人	1人	1人

17番
紙谷 由香
2期（無所属）
総務常任委員会（副委員長）
議会報編集常任委員会



市民の皆さまが安心して暮らせるまちへ。看護経験を活かし、健康のまちづくり力を尽くします。

16番
井之上 豊
3期（公明党）
市民建産常任委員会（副委員長）
議会運営委員会（副委員長）



防災、減災、福祉、教育を社会と政治の中心に。小さな声をまちづくりに反映していきます。

議会の構成

議長／渡 孝二

副議長／森本 義征

監査委員／結城 弘明

委員会	主な仕事	委員名
総務常任委員会	総務課、まちづくり推進課、人事秘書課、経営戦略課、財政課、管財課、会計課、デジタル推進課、選挙管理委員会、監査委員、固定資産評価審査委員会	委員長 平木 尚子 秋吉 智紀 大賀 文子 副委員長 紙谷 由香 松島 岩太 森本 義征
文教厚生常任委員会	福祉課、健康介護課、子育て支援課、隣保館、教育総務課、学校教育課、生涯学習推進課、青少年育成課、学校給食センター、文化課	委員長 古賀 誠視 森 真希 奴間 健司 副委員長 今井 公一 大隈 慶太郎 秋山 隆哉
市民建産常任委員会	市民国保課、市税課、収納管理課、環境課、人権センター、農林振興課、商工政策課、都市整備課、建設課、上下水道課、古賀駅周辺開発推進課、農業委員会	委員長 中野 敦史 結城 弘明 福崎 トビオ 副委員長 井之上 豊 村松 謙二 伊藤 康義
議会報編集常任委員会	議会だよりの発行、編集方法などの総合的な調査研究 ※委員構成は、各常任委員会から1人、会派から3人の計6人	委員長 福崎 トビオ 森 真希 秋山 隆哉 副委員長 秋吉 智紀 平木 尚子 紙谷 由香
議会運営委員会	議会の運営 議長の諮問 ※委員構成は、会派から選出の計6人	委員長 奴間 健司 古賀 誠視 松島 岩太 副委員長 井之上 豊 福崎 トビオ 大賀 文子 議長 渡 孝二 副議長 森本 義征
予算審査特別委員会 (第1回定例会にて設置)	当初予算案の審査	議長を除く議員全員
決算審査特別委員会 (第3回定例会にて設置)	決算案の審査	議長、議会からの監査委員を除く議員全員
補正予算審査特別委員会	補正予算案の審査	議長を除く議員全員

古賀市議会では常任委員会以外に設置される組織があります。

名 称	主 な 仕 事
政 策 推 進 会 議	政策推進会議の政策課題の決定に関すること 調査研究の実施に関すること 政策的条例案の策定に関すること 市長に対する政策提言の報告に関すること
議 会 報 告 会	議会の活動報告に関すること 議案などの審議の経過および結果に関すること

古賀市附属機関等（議会選出分）一覧表

（令和5年7月現在）

名 称	議会代表議員名
古賀市都市計画審議会	森本 義征、松島 岩太、大隈 慶太郎、結城 弘明
古賀市海津木苑運営委員会	渡 孝二、平木 尚子、伊藤 康義
古賀市交通安全対策協議会	森本 義征、平木 尚子
北筑昇華苑組合議会	渡 孝二
玄界環境組合議会	渡 孝二、中野 敦史
古賀高等学校組合議会	渡 孝二
粕屋北部消防組合議会	渡 孝二、平木 尚子、古賀 誠視
古賀市土地開発公社	森本 義征、秋吉 智紀、村松 謙二
古賀市社会同和教育推進協議会	紙谷 由香、福崎 トビオ
古賀市献血推進協議会	渡 孝二
民生委員推せん会	秋山 隆哉
古賀市人権尊重推進委員会	森本 義征
古賀市青少年育成市民会議推進委員	渡 孝二、大賀 文子、森 真希

古賀市議会事務局

本会議・委員会の事務や運営の補助、会議録の作成、議会活動に必要な調査や資料の収集などを行っています。本年度は局長はじめ6人体制で議会をサポートします。

異動

菅島 あゆみ（主任主事）



5年間大変お世話になりました。
議会事務局で培った経験を今後の業務に生かしていきたいと思っております。

配属

長山 エミ（業務主査）

議会の運営がスムーズに進むよう補佐していきたいと思っております。

配属

佐藤 祐美（主事）

よりよい議会運営となるよう、全力でサポートに努めてまいります。よろしくお願いたします！



教育支援センター、米多比児童館が変わります

34号議案

古賀市教育支援センター（あすなる教室）の機能を移転

35号議案

米多比児童館の機能移転で青柳児童センターに

教育支援センターあすなる教室の移転理由は、不登校児童生徒が増加傾向にあり、利用ニーズが高まっている中で、現在の場所は建坪が小さく大規模改修をしても課題解決は見込めないため。

付託▷ 文教厚生委員会 賛成多数 可決

米多比児童館の移転理由は、築58年で老朽化が進んでおり、閉館時間も早いので平日に中高生の利用が難しい。移転先は同じ古賀東中学校区内にあり、新耐震基準、バリアフリー対応。開館時間を18時までから20時まで延ばす。授乳室、学習室、ネット遊具など設置予定。付託▷ 文教厚生委員会 賛成多数 可決



教育支援センター



青柳町 801 番地



米多比児童館

34・35号
本会議
賛成多数
可決

主な審議

第2回 定例会
(9月13日～30日)

36号
議案

古賀北中学校の地域開放施設の冷暖房施設の使用料を定めます

1時間当たりの使用料を100円とする。
(使用料は市民体育館ミーティングルームやリーパズプラザ交流館等に準じる。)

付託▷ 文教厚生委員会 賛成全員 可決

本会議
賛成全員
可決

31号
議案

古賀市印鑑条例及び古賀市手数料条例の一部改正

個人番号カードによるコンビニ交付の証明書の発行の利便性をお知らせする趣旨の下、本年10月1日から来年3月31日までの期間、多機能端末機による証明書の発行手数料を、10円に減額するもの。

付託▷ 市民建産委員会 賛成全員 可決

本会議
賛成全員
可決

主な審議

特別委員会設置に関する決議

44号議案

JR古賀駅周辺開発調査特別委員会の設置に関する決議

JR古賀駅周辺開発についての総合的な調査研究

45号議案

古賀浄水場のあり方調査検討特別委員会の設置に関する決議

安定した水道事業の実施に向けた総合的な調査研究

44・45号
本会議
賛成多数
可決

43号
議案

特別支援学校・学級等への教員等の適切な配置を求める意見書の提出について

子どもたちの多様性を尊重するインクルーシブ教育の構築が求められており、我が国の特別支援教育のさらなる体制整備と拡充が必要なため。

本会議
賛成多数
可決

特別委員会設置について

議案の可決により、2つの特別委員会が設置されました。それぞれの特別委員会の委員は次のとおりです。

JR古賀駅周辺開発調査特別委員会

委員長 森本 義征 副委員長 福崎 トビオ

今井 公一 結城 弘明 森 真希 秋吉 智紀

村松 謙二 伊藤 康義 井之上 豊

古賀浄水場のあり方調査検討特別委員会

委員長 松島 岩太 副委員長 大隈 慶太郎

中野 敦史 古賀 誠視 平木 尚子 大賀 文子

奴間 健司 秋山 隆哉 紙谷 由香

37号
議案

新型コロナウイルス感染症や電気料金・物 価等の高騰に対する取り組み

一般会計補正予算 5億962万7千円の追加

補正予算
(9月23日)

第2回
定例会

電気料金高騰に対する自治会のための支援金の追加

防犯灯の電気料金・LED化、地域公民館の照明のLED化に係る費用の補助。 (7,134万円)

電気・ガス料金高騰に直面する事業者のための支援金の追加

電気・ガス料金高騰に直面する市内事業者への支援策。省エネ対応機器の導入費用について2/3(上限50万円)を補助。 (5,015万8千円)

物価高騰に直面する子育て世帯のための給食材料費補助金の追加

給食費値上げ抑制のため、小中学校や保育所等の給食費補助。 (7,919万1千円)

燃料費高騰に直面する一般廃棄物許可業者のための清掃業者等支援金の追加

収集運搬に要した燃料費の補助。 (90万3千円)

物価高騰に直面する福祉施設等のための支援金の追加

保育所や市指定の介護サービスや障がい者福祉サービスを提供する事業所に支援金の支給。 (1,383万6千円)

本会議
賛成
可決

38号
議案

39号
議案

令和5年度 公営企業会計補正予算

水道事業

(収益的支出) 87万5千円の増

下水道事業

(収益的支出) 87万5千円の増

本会議
賛成
可決

令和5年 第2回定例会 議案の議員別賛否一覧

会期: 令和5年6月13日~6月30日

号数	議案名	結果	今井公一	結城弘明	中野敦史	古賀誠視	森真希	秋吉智紀	村松謙二	福崎トビオ	平木尚子	松島岩太	伊藤康義	大賀文子	大隈慶太郎	奴間健司	秋山隆哉	井之上豊	紙谷由香	森本義征	渡孝二	
31	古賀市印鑑条例及び古賀市手数料条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
32	古賀市税条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
33	古賀市企業立地促進条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
34	古賀市教育支援センター条例の一部改正	可決	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
35	古賀市立児童館条例の一部改正	可決	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
36	古賀市立学校施設開放の管理運営に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
37	令和5年度古賀市一般会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
38	令和5年度古賀市水道事業会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
39	令和5年度古賀市下水道事業会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
40	工事請負変更契約の締結(古賀市汚泥再生処理センター海津木苑(仮称)建設工事)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
41	工事請負契約の締結(古賀東中学校校舎大規模改造工事)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
42	財産の取得	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
43	特別支援学校・学級等への教員等の適切な配置を求める意見書の提出	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
44	JR古賀駅周辺開発調査特別委員会の設置に関する決議	可決	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
45	古賀浄水場のあり方調査検討特別委員会の設置に関する決議	可決	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○は賛成 ●は反対 議員は議席番号順 ■は議員提出議案

議長職のため、表決に参加しない

ここが聞きたい！

一

般

質

問

質問席

古賀市が取り組むDXとは	井之上 豊
①市民の命と健康を守る古賀市とは ②まちづくりの主人公は地域・市民	今井 公一
市内小中学校の児童生徒の昼休みについて	大隈 慶太郎
2期目の田辺市長に望む	古賀 誠視
市民の主権者意識を高め、投票率を上げるために。	大賀 文子
基幹交通である市内路線バスを抜本的に見直す時が来たのでは	村松 謙二
子どもたちが健やかに安心して過ごせるまちに向けて	紙谷 由香
子どもたちの健康を育む公園に	森 真希
リーバスプラザこがの活性化を	秋吉 智紀
二元代表制と善政競争 ～古賀市での可能性を探る～	奴間 健司
①市民を災害から守るには ②人権と多様性について	平木 尚子
①地域との情報共有、協調について ②地域の分館活動と行政の協働について	福崎 トビオ

一般質問は、議員が市政全般について現状や方針を問うものです。
一人30分（答弁を含まず）の持ち時間で質問します。
掲載している内容は、質問した議員自身の責任でまとめたものです。
掲載は通告届出順です。

中継・録画は、
インターネットで
視聴できます





井之上 豊
(公明党)

古賀市が取り組むDXとは

答 市民の利便性、行政手続きの短縮が目的

議員 デジタル化とDXの違いが分かりにくいとその違いとは何か。

市長 関連するが異なる概念。例えばデジタル化は紙の申請書をインターネット上の申請に置き換えるような取り組み。DXはデジタル技術を活用した戦略的な取り組みで「書かない窓口」や「行かない窓口」などがこれにあたる。

議員 DXに取り組む財源は。

市長 デジタル田園都市国家構想交付金が主たる財源。なお、一般財源については、普通交付税が充てられる。

議員 古賀市が取り組むDXとは。また、その将来は。

市長 新たなアイデアや技術に挑戦する「積極性」、変化に対応する「柔軟性」、そして何より市民の「利便性」を念頭に置いて取り組んでいく。市公式LINEによる情報発信。また、5月からワンストップ化を始めたおくやみ

コーナーなど、必要書類を自動で作成するプログラムを構築したこともあり「短時間で手続きが終わった」と喜ばれている。このように、業務効率化を図り行政サービスの向上、人に優しいデジタル化をめざす。

議員 書かない窓口をめざすのか。

市長 本市としてもDXの一つとして取り組むべきものと考えており、まずは学校教育課の就学支援事業費において、書かない窓口の実証実験を行う予定。

市役所のおくやみコーナー



今井 公一

みんなが主役のまち古賀市に

答 市民との直接対話と合意を大切に

議員 コロナ感染症が5類引き下げになったが、市内の医療機関どこでも診療可能な体制か。

市長 福岡県が古賀市内21の医療機関を指定し公表している。

議員 国は健康保険証を来年10月に廃止してマイナンバーカードと一体化させるとしているが、高齢者や障がい者などマイナンバーカード健康保険証をつくること、自分で管理することが困難な方への対応は。

市長 対応については国から示される予定なのでそれに従う。

議員 西鉄宮地岳線跡地について「市民全体が利用できる跡地利用」が施政方針では「安全で快適な道路環境の実現」に変わったのはなぜか。古賀南区からの要望とだけあるが他の区からの要望は。基本的考え方は変わっていない。要望は古賀南区のみ。

議員 昨年、古賀西小学校区住民のつ

どいが開催され、その結果は市長に届いたはずだが見られたか。話し合いはできたか。

市長 調整中である。

議員 西鉄宮地岳線旧花見駅舎を駅舎カフェにして国際交流の場などに活用してはどうか。

市長 宮地岳線跡地利用で何か人がとどまり楽しめるものがあるの展望ましいと考える。

議員 西鉄宮地岳線跡地の桜の木は残してほしいと地域住民や古賀西小学校の子どもたちは要望している。

宮地岳線跡地の桜





大隈 慶太郎

小・中学校昼休み短縮問題に対処するか

答 学校長の判断に任せる

議員 昼休みの時間短縮による子どもたちの変化と実態を把握しているか。

教育長 市校長会等で聞き取りし、把握している。ケガの減少や5時間目以降の授業での疲労感の減少等、良い変化がみられる。

議員 子どもたちや保護者をはじめとする市民の方々の意見や思いを把握しているか。

教育長 それらの意見や思いは、学校や教育委員会には直接いただいたくない。

議員 時間確保の学校現場の取り組みは。

教育長 放課後の時間を確保している。子どもたちにとっての昼休みをどのように認識しているか。

議員 心身を休める、リフレッシュする、友人との談笑、交流を深める、本を読む時間と認識している。

議員 昼休みは教育課程か。
教育長 教育課程ではないが、学校長

が工夫すべき教育活動。

議員 教員の休憩時間でもあるので、教育活動ではない。

45分も適切、30分も適切であるとするなら、どのような要因が変化したのか。

議員 それぞれの学校で判断している。判断の要因は何なのかと尋ねている。

この問題に早急に対処しますか、されませんか。

議員 学校長の判断に任せる。

令和5年度 市内小中学校の昼休み時間 6月現在

45分（5小学校）	30分（3小学校3中学校）
青柳小	小野小
花鶴小	古賀西小
古賀東小	舞の里小
千鳥小	古賀中
花見小 <small>（木曜のみ30分）</small>	古賀北中
	古賀東中

一般質問



古賀 誠視
(市民クラブ)

子ども医療費・無償化の対象となる児童数は

答 対象は2100人を見込む

議員 就学前までの子ども医療費の無償化が10月より実施されるが、新たに対象となる児童数は。

市民国保課長 対象は2100人を見込む。

議員 周知方法はどのようなのか。

市民国保課長 市の広報やホームページで周知し、9月中に無償となる医療証を送付する。医師会や関係機関にも周知を行う。

議員 今後も少子化対策としての支援が求められるが。

市長 18歳までの対象拡大は公約にも掲げていることから、財政負担を考え検討していく。

議員 ゴミのふれあい収集が実施されるが、対象者数と周知方法は。

環境課長 ふれあい収集の対象者は25人ほどを想定している。周知方法は市ホームページや区長会、民生委員などに説明を行い、6月より申請を受け付け8月から収集を開始する。

議員 対象者の拡大はどう進めるか。

環境課長 対象者の拡大は収集の状況を踏まえ、今後検討していく。

議員 AIオンデマンドバスの運行状況はどのようになっているか。

市長 利用登録者は947人で、1日の平均乗客数は平日で13人、古賀駅に行く人が一番多い。

議員 課題はどのように考えているか。

市長 AIオンデマンドバスの認知度の向上、エリア以外のミーティングポイントの見直し、行政区からの要望や乗車後のアンケート、運転手からの聞き取りを公共交通会議で提案し協議する。

知ってほしい、乗ってほしいAIオンデマンドバス





大賀 文子
(山海会)

主権者意識を高め投票率を上げるために

答 市民が市政を身近に感じるよう努める

議員 投票率低下の受け止めは。

選挙管理委員会委員長 民主主義にとって

懸念すべき問題。

議員 市民が主権者意識を醸成するた

めの取り組みは。

市長 市長と教育長が、小・中学校を

回り子どもたちと触れ合う。小

学生向けWebブックの作成

中学校では生徒会役員選挙を電

子投票などで行っている。

議員 現状、有権者に候補者の情報を

届ける手段は。

選挙管理委員会委員長 選挙公報を発行

し、市ホームページ掲載、各戸

配布、投票所で掲示。

議員 選挙期間中、市民からの苦情は。

選挙管理委員会委員長 選挙カーの連呼に

よる騒音、選挙公報が届いてい

ないなど。

議員 公職選挙法を守りながら工夫

することが大事。選挙ポスター

掲示板に、選挙公報へ飛ぶQR

コードを加えることはできるか。

選挙管理委員会委員長 有効であると考え

議員 市長選挙、市議会議員選挙の立

候補は何歳からできるか。

総務課長 満25歳から。

議員 生徒会運営や、校則策定などで

自治の仕組みはあるか。

教育長 生徒会役員選挙、中学校で校

則を子どもと保護者で改定中。

議員 選挙期間中は、より有効な主権

者教育の機会。学校で選挙公報

を配布できるか。

市長 有効であると考え

議員 議員がめざす「開かれた議会」も

「主権者は市民」であることを示

す大切な取り組みである。

早く見たいならホームページが正解！

選挙公報
古賀市議会議員一般選挙
4/23日 午前7:00-午後8:00
期日前投票所
期日前投票所第2庁舎2階 中会議室 4/17(月)~22(土) 8:30~
マリブ古賀店1階 特設コーナー 4/21(金)~22(土) 10:00~



村松 謙二
(市民クラブ)

需要の変化に対応できる公共交通を

答 地域のさまざまなニーズや意見で検討する

議員 今年度も筵内と小竹地区にて、

地域協議会を実施し、住民の意

見やアンケートの意見をふまえ、

既存の交通サービスの改善を図

るとのことだが、具体的には小

型バスの導入やルートの見直し

も検討するの

経営戦略課長 そのように考えている。

議員 少子高齢化や公共交通への需要

の変化に対応できるネットワー

クをめざす具体的な対策は。

経営戦略課長 2つの地域以外の行政区

にもさまざまなニーズがあるの

で、その意見を注視しながら検

討する。

議員 需要の変化に対応できるのがA

Iオンデマンドバスやコガバス

ではないのか。また基幹交通は

路線バスの位置付けなのか。

市長 現段階においては今の路線バス

が良い選択。朝方や夕方の時間

帯に多くの乗客が乗っているが、

このバランスをどう取るか。A

Iオンデマンドバスで、このニ

ーズをフォローできるのか慎重な

検討が必要。西鉄バスを運行さ

せながら補完的にさまざまな手

段で全体の利便性を高めたい。

議員 西鉄バスの今後の事業方針では、

AIオンデマンドバスを広めた

いと発言があった。乗客が少

ない地方では大型バスを走らせ

るよりコストが下がると言及し

ている。事業者の経営環境次第

では、撤退というXデーも想定

する必要があるが。

市長 普段から内部で検討している。

路線バスとAIオンデマンドバスの違い

	路線バス	AIオンデマンドバス
ルート	決められたルート	呼び出しによってルートを変え
乗降場所	バス停 (500m間隔)	乗降スポット (200~300m間隔)
ダイヤ	決まっている	呼び出しに応じて運行
予約	不要	乗車直前にアプリや電話で予約
車両	大型バス	小型バス (9~10人乗り)



紙谷 由香
(市民クラブ)

子どもの居場所づくりの拡充を

答 公と民の協働、連携強化を図る

議員 子ども家庭庁の設立に伴い、古賀市の体制はどうなるのか。

市長 「子ども家庭センター」設立に向けた検討や準備を進め、子どもに関する相談・支援をワンストップで提供できる体制や環境を整え、拠点として機能を強化していきたい。

議員 子どもの居場所づくりの拡充と相談支援体制の強化は。

市長 就学前までの親子の居場所としては、つどいの広場やミニつどいの広場で支援に取り組んでいる。市公式LINEアカウントに「子どものための相談室」を新設し、子どもが直接相談しやすい環境づくりを行っている。

議員 不登校児童生徒への支援体制は。

市長 チーム学校として専門家を配置し、関係機関と連携を図り、個々に応じたきめ細かな支援を行っている。あすなる教室において今後、保護者支援の強化と

子どもたちの喜ぶ顔が見たい



して保護者会を通じて情報共有を考えている。

議員 子ども食堂の意義をどのように捉えているのか。

市長 民間の子ども子育てに意識のある皆さまが、それぞれNPOや団体の活動として展開するものだと認識している。柔軟に支援を行うためには民間が主体性を持つて行うことで困りごとがより解決しやすい面があると思う。また、公と民が協働して連携してやっていくことが重要だと考えている。



森 真希
(山海会)

元気な子どもたちの夢が広がる公園を

答 外遊び・体験活動の推進に取り組む

議員 子どもたちの遊びは心身の発達にどのような効果があると認識されているか。

市長 遊びは子どもの心身の発達に重要な役割を果たすと認識している。

議員 子どもたちが利用する公園の整備に、どのような課題があり、その課題に対する検討はされているか。

市長 経年による劣化、老朽化が課題。修繕・更新、撤去などの対応を行っている。子どもたちの安全確保も課題と考え、対応している。

議員 公園などの整備に、子どもたちの意見をどのように収集し、政策や施策に反映しているか。

市長 子どもたちの意見は、安全確保を大前提に地域の中で要望として取りまとめている。

議員 子どもたちの遊び場の安全や関係団体を支える環境づくりはどのように考えているか。

市長 地域の協力を得ながら関係団体を支える環境づくりを行う。

議員 元気な子どもたちの夢が広がる、古賀オリジナルの公園を想像し、進めていただきたい。

市長 子どもたちの体験を重視した子育て支援活動が進むよう公としてしっかりと連携していくことが、他のまちにはない古賀市独自の外遊び体験活動の推進につながると思う。プレーパークなどそうした視点から大切にして取り組みたい。

子どもたちの夢が広がる公園





秋吉 智紀
(市民クラブ)

リーパスプラザこがの活性化を

答 施設のポテンシャルを最大限に活かす

議員 稼働率が低いことに関し、どのように取り組んでいくのか。

市長 魅力ある講座を開催し、たくさんの方にお越しいただく。利用事例を分かりやすく紹介し、気軽に利用できる施設と認識していただく。

議員 ネット予約に際し、アカウント作成時に半年間ネット予約ができない状況だが。

市長 窓口受付での初回利用から定期利用団体となるまでの期間をネット予約にも適用していた。利便性が非常に低いと受け止めているので、速やかに変更する。

議員 ホールおよび貸室内にWi-Fiを完備していない理由はなにか。

デジタル推進課長 アクセスポイントが2カ所あり、現在の契約は令和7年までである。

議員 契約終了まで2年あり、終了までに積極的に導入する考えはないか。

い。

市長 全ての貸室にWi-Fiを整備しなければならぬのか、しっかり見極める。

議員 DXを推進しているのが形だけにならないよう、また市民のネットリテラシー向上のためにも早急な導入を。

市長 サウンディング型市場調査の進捗状況は。予算やスピード感は妥当か。

市長 JR古賀駅東口再開発と歩調を合わせて最適解を見つける。予算やスピード感は妥当。

市民に使いやすいリーパスを



奴間 健司
(友和)

公約と所信表明 どちらがマニフェストか

答 選挙で掲げたものが公約である

議員 二元代表制の下、市長と議員・議会がマニフェストで競い合いながら、相互チェックを行う善政競争でより良い市政を実現することが望まれる。昨年、市長選挙時の公約と選挙後の所信表明のいずれがマニフェストか。

市長 選挙前に公表したリーフレットに書かれた政策が2期目の公約である。選挙後の定例会での所信表明は公約を盛り込み、その他にまちづくり推進の基本的考えを述べた。

議員 所信表明には浄水場の在り方の検討など7項目が追加された。選挙の洗礼を受けていない。公約17項目がマニフェストか。

市長 マニフェストの意義は認めるがそれではなければならないのかとも思う。選挙で掲げたものが公約であり所信表明とは異なる。マニフェストの進捗状況を評価・検証し公表すべきだが。

市長 所信表明を予算と連動するアクションプランに反映させ、その進捗状況や結果を成果報告書や総合政策検証会議で公表する。

議員 市民に約束したことの評価・検証結果を任期中間点や任期満了前に公表してほしい。

市長 日々ブログ等で膨大な内容を発信している。それを見てもらえば進捗を評価していただける。

議員 今回、新たな気づきはあったか。

市長 二元代表制という大きなテーマでの議論はなかなかないので大いに学ばせていただいた。

何が市長マニフェストか判明しなかった





平木 尚子
(公明党)

市民を災害から守るには

答 公助には限界。自助を成立する意識を

議員 大雨や台風などの備えについて古賀市の対応は。

古賀市地域防災計画の風水害対策編に基づき対応している。なお、法改正の他、近年の風水害の被害などを受け、見直しを行っており、7月に公表予定。

市長 熱中症対策についての対応は。

広報・ポスター・チラシ等による啓発や、市公式ホームページ上で「現在の暑さ指数」を毎日掲載し、市民が適切な行動をとれるようサポートしている。

議員 災害ケースマネジメントについてどう考えるか。

重要な考え方だ。本市として検討していく。

市長 地震への備えについての対応は。

古賀市地域防災計画の地震・津波対策編に基づき対応している。地震は平時からの備えがより重要であることから、家具の固定や耐震改修の促進などの周知啓

議員 古賀市地域防災計画の地震・津波対策編に基づき対応している。

市長 地震は平時からの備えがより重要であること、家具の固定や耐震改修の促進などの周知啓

発を行っている。災害用備蓄品についての対応は。福岡県備蓄基本計画において、県民は自助の考え方を基本的に、最低3日分程度の飲料水や食料、生活物資等の備蓄に努めることとされている。市では、古賀市備蓄計画に基づき、避難者数1500人を基数として市内8小学校に設置する防災倉庫や市役所、保健福祉総合センターにおいて備蓄を行っている。

※その他の質問

人権と多様性について

古賀市防災マップとマイ・タイムライン



福崎 トビオ
(自由クラブ)

地域との情報共有、協調について

答 今後も地域とともに歩む姿勢が大切

議員 西口エリア、西口駅前再整備、西鉄宮地岳線跡地の今後は。

西口における人流調査、交通社会実験などを実施。また、商機能の強化を意識し、駅前広場、周辺道路の整備により「地元で暮らす人の笑顔溢れるまち」の完成をめざしている。

市長 宮地岳線跡地は、古賀南区の詳細設計を実施。中川区、花見南区において工事を実施する予定。5年後は花見佐谷線の工事着手を目標とし、この事業の目的である「安全で快適な道路空間」により歩行者の安全が確保されることをめざしている。

西口エリア、西口駅前再整備、西鉄宮地岳線跡地の今後は。

議員 中村哲氏の絵本づくりの情報発信は、まず地域からでは。

中村哲氏の絵本づくりの情報発信は、まず地域からでは。

議員 今後、まず地域からでは。

今後、まず地域からでは。

教育長 今後、まず地域からでは。

今後、まず地域からでは。

公民館で行われている地域学習



校区コミュニティとの連携を深め、ともに中村哲さんの志と功績を次世代につないでいきたい。

行政区の教養学級活動の課題を認識しているのか。

社会情勢の変化やコロナ禍等により、分館活動、教養学級活動が十分に果たせていないと認識。

議員 共有、協調、共働が大切では。

議員の提起は「共有」した。ともに歩む「協調」が大事であり、「共働」の理念がないと行動に移らない。

今後、まず地域からでは。

議員 今後、まず地域からでは。

今後、まず地域からでは。

議員 今後、まず地域からでは。

今後、まず地域からでは。

議員 今後、まず地域からでは。

今後、まず地域からでは。

議員 今後、まず地域からでは。

今後、まず地域からでは。

議員 今後、まず地域からでは。

今後、まず地域からでは。

議員 今後、まず地域からでは。

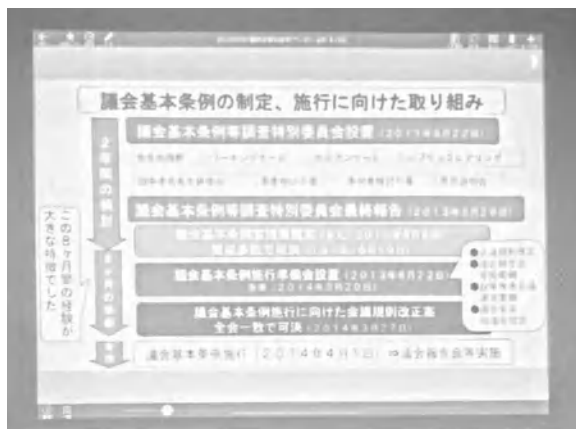
今後、まず地域からでは。

初当選議員研修会

5月30日、初当選議員研修会を行い、初当選の議員7人はもちろん、公務が重なった監査委員を除く議員全員が出席しました。

奴間議会運営委員会委員長より「古賀市議会の歩みと議会基本条例のポイント」について、松島議会運営委員会委員より「議員必携」について、議会事務局長より政務活動費等について説明がありました。

市民のために活動していくという覚悟と共に、身が引き締まる研修会となりました。



看護学生インタビュー

7月6日、福岡女学院看護大学と古賀市議会で見聞交換を行いました。

議員、学生共に自己紹介を行った後、学生より市議会に関して事前学習した内容を発表してもらいました。

市民の声を市政に反映させるという議会の役割から発表が始まり、議会の仕事内容はどういったものなのか、議会の仕組みと流れ、議会の進め方はどう行っているのか、事細かな事前学習に学生側の熱意が伝わってきました。

学生からの質問は「住民の声を市政に反映して議会で取り上げるために、どうやって住民の声を聞いているのか?」「議員と保健師の接点はあるのか?」「ヘルスステーションや健康チャレンジ10か条をどのように地域住民に広めたのか?」など、具体的なものが多く、お互いに理解が深まりました。

最後に福岡女学院看護大学



の教授、松尾先生より保健師活動の特徴と魅力に関して講演がありました。自助・共助・互助・公助の大切さだけでなく、健康づくりを推進する住民組織の数が古賀市には多いことを教えていただきました。

陳情

5年陳情4

国に対し、適確請求書等保存方式(インボイス制度)の延期・見直しを求める陳情書

陳情者 インボイス制度を考える

フリーランスの会

代表 阿部伸

5年陳情5

全国霊感商法対策弁護士連絡会の不当な声明に対する陳情

陳情者 基本的人権と信教の

自由を守る福岡県民の会

代表者 江頭 一樹

意見書

特別支援学校・学級等への教員等の適切な配置を求める意見書

賛成多数で国の関係機関に意見書を

提出することに決まりました。

提出者 古賀市議会議員

平木 尚子

次世代農業を担う

JA粕屋青年部 古賀支部

JA粕屋青年部古賀支部は、古賀市で農業を営んでいる20歳から50歳以下のメンバーで構成されています。メンバーの作っている農産物はさまざまですが、それぞれが地域に根ざした農業を営んでいます。

古賀支部では年間を通して「食育」をテーマにいろいろな活動を行っています。

幼稚園での泥リンピックや田植え・稲刈り体験などです。



第2回定例会の傍聴者は66人でした。ありがとうございます。

第3回定例会は8月29日（火曜日）開会予定です。

インターネットによる中継・録画配信も行っています。ご利用ください。



それらの活動をお手伝いすることが、農業の未来にタネをまく大事な食育活動だとメンバー全員が感じています。

古賀市の特産品ともなるべく、スイーツコーンの栽培にも精力的に取り組んでいます。

古賀支部のメンバーは、開催当初からスイーツコーン祭りに関わっており、古賀市スイーツコーンのヒーロー「ヨメニコロン改」を誕生させた実績があります。



「農業は気象条件に左右される部分が多いですが、それ以上の喜びが得られる仕事だと思っています。仕事、生活の糧となる農業、先祖より受け継いできたふるさとの風景を守る農を大切にし、常にタネをまき前進していく組織でありたいと思っています。」と語ってくれました。



JA粕屋

092193812511

令和5年 古賀市議会 第3回定例会会期日程（案）

会期 8月29日～9月27日 30日開

日	曜	会議名
8/29	火	本会議（初日）
31	木	本会議（2日目）
9/1	金	常任委員会
4	月	常任委員会
5	火	常任委員会
6	水	補正予算審査特別委員会 決算審査特別委員会
7	木	一般質問
8	金	一般質問
11	月	一般質問
12	火	JR古賀駅周辺開発 調査特別委員会
14	木	古賀浄水場のあり方 調査特別委員会
15	金	決算審査特別委員会①
19	火	決算審査特別委員会②
20	水	決算審査特別委員会③
22	金	決算審査特別委員会④
25	月	決算審査特別委員会⑤
27	水	本会議（最終日）

開議時刻は全て9時30分～

注) 会期日程は、8月25日（金）の議会運営委員会決定後、市役所ロビーなどに掲示します。
 ◎本会議でのすべての質疑・討論の記録は「議国会議録」に収録されています。また、議会ホームページでもご覧になれます。
 ◎議会の本会議、各委員会は傍聴することができます。
 （本会議の傍聴席は46席、委員会傍聴席は原則5～10席です。）
 ◎請願書の締切りは8月22日（火）午後5時です。

古賀市議会の中継・録画は

古賀市議会

またはQRコードで検索してください。



中継・録画 古賀市議会 HP

スマートフォン、タブレットにも対応しています。



編集後記

表紙の言葉
 □□不禍でも地域の防災のために尽力してきた古賀市消防団。日頃の訓練を競う操法大会の再開に、全団員が取り組みました。

令和5年から4年間の任期に就く古賀市議会の議員構成。
 市議会だよりを作る委員会の顔ぶれも、経験者3人、新人3人の組み合わせになりました。新しい委員が加わる度にリニューアルをかけた、「読みやすい、手に取りやすい市議会だより」をめざしています。

限りある紙面を補うためインターネット配信も行い、市議会だよりと合わせて議会活動の情報発信に向け、編集委員一同、これからも取り組んでまいります。
 （福岡）

議会報編集常任委員会
 委員長 福岡トビオ
 副委員長 秋吉智紀
 委員 森真希
 平木尚子
 秋山隆哉
 紙谷由香

